

「半世紀遅れの精神医療の転換期」

厚生労働省 吉川隆博障害保健専門官

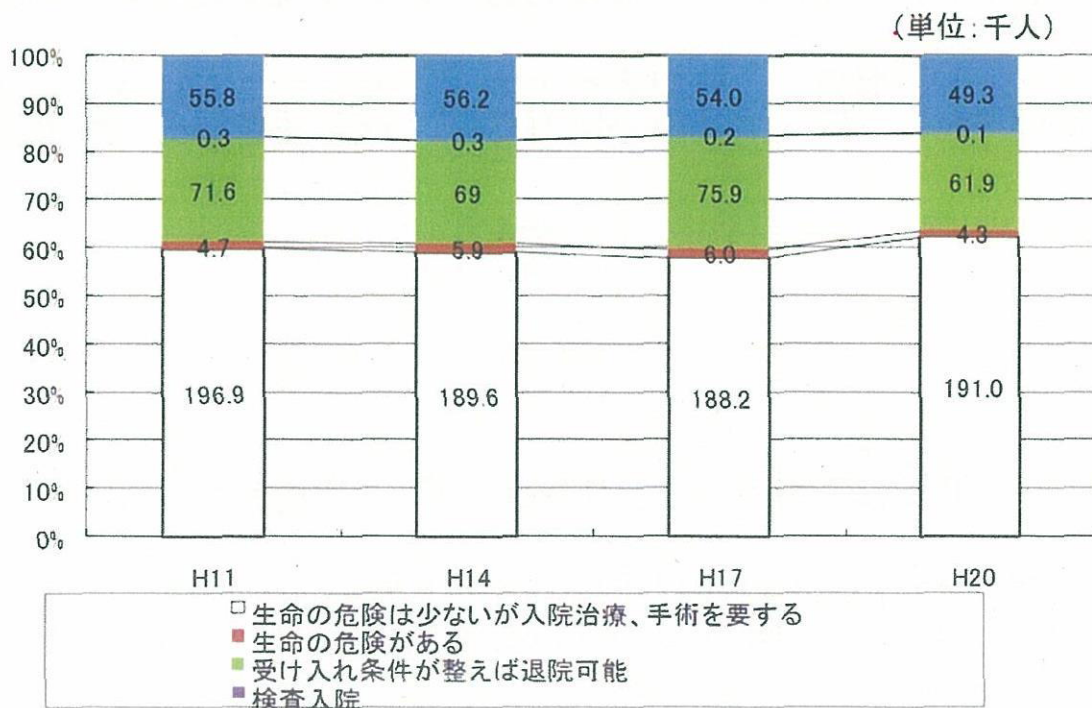
- 豪、米、英などの先進国が1960年以降、精神病床数を減らして精神医療改革を実施し成果を出してきたのに対し、日本は「半世紀遅れでようやく本気で精神医療改革に取り組んでいこう（と考え）、そういった施策を進めているところ。わたしも皆さんも精神医療の転換期に立っている」
- 2008年日本精神科看護技術協会の精神保健福祉フォーラムで発言

11

社会的入院の減少はわずか1万人

72,000→61,900人 2008年

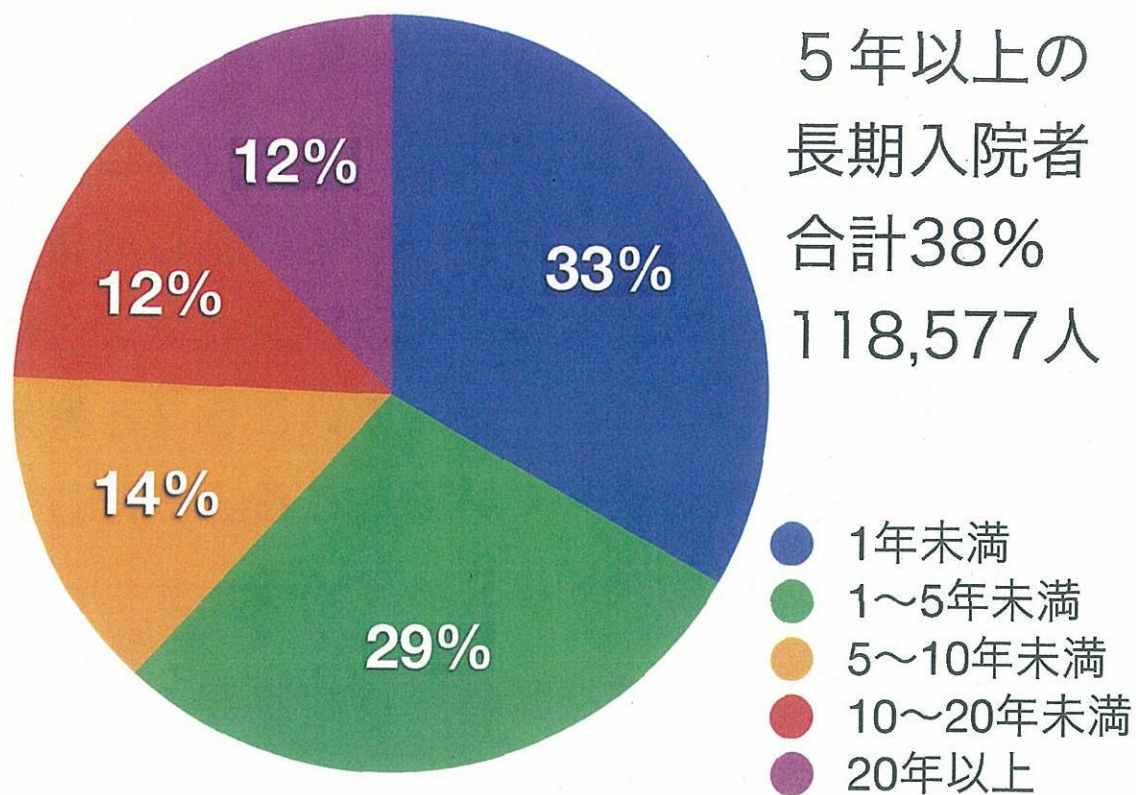
精神病床入院患者の状況



資料:患者調査

12

入院者の在院期間 2009年630調査



13

厚生労働省は

精神病床の機能分化を進めた
(急性期・認知症・療養型など)

しかし



社会的入院は解消されず
入院者の権利状況は取り残された

14

入院者の権利状況の悪化は深刻

- ・ 医療保護入院・閉鎖病棟の増加
- ・ 任意入院者の閉鎖処遇の増加
- ・ 隔離・身体拘束の急増
- ・ 精神医療審査会は充分機能しない

15

悪化する精神科入院者の処遇

厚生労働省
630調査

	2003年	2008年	増減
入院者数	325,169	313,271	－11,898
精神科病床数	353,319	345,696	－7,623
隔離件数（1日）	7,741	8,456	715
身体拘束件数（1日）	5,109	8,057	2,948
隔離＋身体拘束件数（1日）	12,850	16,513	3,663
隔離室＋施錠できる個室	(04年)19,837	24,024	4,187
閉鎖病棟（16時間以上）	64.4%	67.1%	2.7%
任意入院者の閉鎖処遇率	(04年) 52.3%	55%	2.7%
医療保護入院者数	114,145	124,920	10,775
終日閉鎖病棟の比率	42.4%	59.2%	16.8%
公衆電話未設置の閉鎖病棟	7.3%	4.3%	－3%
平均在院日数	349	313	－36日

入院者数は1万人減少したが目標の7万人にはほど遠い

平均在院日数は海外の平均の10倍以上・電話未設置は違法

16